

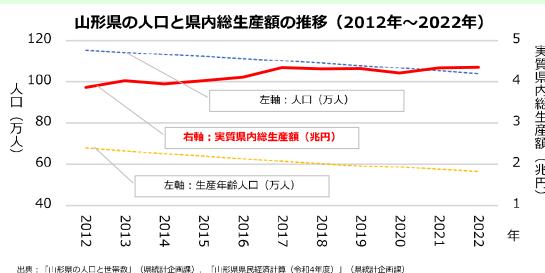
令和8年度 県政運営の基本的考え方

資料 1
みらい企画創造部

第4次山形県
総合発展計画の
基本目標

本県を取り巻く情勢

- 少子高齢化を伴う人口減少の加速（本県人口100万人割れ）
若者・女性の県外転出
- 人口減少下においても、実質県内総生産額や一人当たり県民所得は増加
- 行政も含め、あらゆる分野における人手不足の深刻化
- 地方移住への関心の高まり、多様な働き方・暮らし方の拡大
- 関係人口、交流人口の拡大
- 物価高騰の長期化、賃上げの動きの拡大
- デジタル化の加速、生成AI等の新技術の急速な普及
- 気候変動の加速、自然災害の頻発・激甚化



政府の政策動向

「経済財政運営と改革の基本方針2025」 ～「今日より明日はよくなる」と実感できる社会へ～

<主な政策の方向性>

- 物価上昇を上回る賃上げの普及・定着
- 地方創生2.0の推進
- 農林水産業の構造転換による成長産業化及び食料安全保障の確保
- 海外活力の取り込み（貿易・投資の拡大等）
- 防災・減災、国土強靭化の推進
- 「誰一人取り残されない社会」の実現（女性・高齢者の活躍等）
- 外国人との秩序ある共生社会の実現など

「地方創生2.0基本構想」

～「強い」経済、「豊かな」生活環境、「新しい日本・楽しい日本」～

<地方創生の現状認識>

- 人口減少を受け止めた上で対応が必要
- 国・地方公共団体の相互の役割の再検討が必要

<政策の5本柱>

- 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生
～地方イノベーション創生構想～
- 人や企業の地方分散
～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～
- 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用
- 広域リージョン連携

今後の施策展開の方向性

基本的な考え方

- 第4次山形県総合発展計画後期実施計画では、**人口減少のスピードの緩和と人口減少に対応できる県づくり**を最重要課題として推進

- 加えて、県内各層や県民等の議論¹を踏まえ、**重点化の方向性を整理**

- 県民のウェルビーイング²の向上**

県民が将来に明るい希望を持って、快適に楽しく住み続けることのできる県づくりを推進

¹ 総合政策審議会、やまとたま未来共創会議、『県民まんなか』みらい共創カフェ等

惠まれた自然環境や優れた食文化など、本県ならではの豊かさを活かし、デジタルも活用しながら、暮らしの質をさらに高めていくとともに、性別や年齢等にかかわらず、誰もが自分の能力や可能性を發揮して、いきいきと活躍できる環境を整備していくことで、県民の幸福度の向上を目指す。

² 心や身体が健康で、社会的・経済的に満たされている状態

- 県内経済の持続的な成長**

社会経済情勢の変化をチャンスと捉え、**生産性の向上や付加価値の増大**を推進

本県の産業に蓄積されてきた知識・技術や、高いポテンシャルを有する環境資産等の「地域資源」と、外部の人材・資本等の「国内外の活力」の掛け合わせによる高付加価値な製品・サービス創出の促進や、AI・デジタルの徹底活用による業務の効率化・高度化に取り組み、県民所得の向上を目指す。

- 安全・安心な地域づくり**

災害の頻発・激甚化や地域の担い手減少等を踏まえ、**県民の安全・安心を確保するための取組み**を充実

地域の拠点機能の維持や医療提供体制の整備など、将来も見据えた県民の生活環境の維持・向上を進めるとともに、AI・デジタルも活用した防災対策や気候変動対策の強化などにより、県民が安心して暮らせる地域を目指す。

⇒ これらにより地域に賑わいを創出し、魅力を高めることで、

若者・女性をはじめ、多様な人材を惹きつけ、**持続可能なやまとたま**を実現していく。

※ 人手不足の深刻化を踏まえ、**市町村との連携強化や民間活用など**による行政機能の維持・確保を進めていく
併せて、県財政の厳しさを踏まえて、行政事務の**業務量の縮減や、組織・業務の効率化**を推進していく

重点化の方向性

1 県民のウェルビーイングの向上に向けた取組みの推進

- 地域の次代を担う子どもの教育環境の充実、地域に愛着を持ち、将来も地域に貢献できる人材の育成
- 若者・女性が暮らしやすい地域づくりに向けた、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消
- 多様な働き方の導入・拡大やキャリア支援、志向に応じた就業の場の拡大等による若者・女性の活躍の推進
- 出会い支援の強化や子育て世帯の経済的負担の軽減等による、結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援の充実
- 隣がいりや高齢者などの多様な社会参加・就労の促進、健康寿命延伸に向けた取組みの推進
- 外国人やその子どもが安心して暮らせる生活・教育環境の整備、多様なコミュニティの創出など、地域における多文化共生の推進
- 県民生活に楽しみや交流拡大をもたらす文化芸術・スポーツの振興
- デジタル技術の活用による交通・医療等の生活必需サービスの維持・向上
- 鉄道、航空、高規格道路、港湾など、利便性の高い広域交通ネットワークの充実に向けた取組みの強化

2 県内経済の持続的な成長に向けた取組みの推進

- 産学官金の連携による地域の産業を支える人材育成の促進、スタートアップ企業の創出
- 県内企業が行う賃上げや働き方改革の取組みの後押しなど、様々な主体が取り組む人手不足・人材確保対策への支援
- 留学生や産業界で活躍する人材など、外国人材の受け入れの拡大・定着の促進
- 「ふるさと住民登録制度³」等を活用した関係人口の創出・拡大
- AI・デジタルを活用した幅広い産業の生産性向上、地域内外の様々な関係者の連携・協働によるイノベーション創出の促進
- 多様な地域資源を生かした観光・インバウンドの受け入れ拡大に向けた観光地の高付加価値化の推進
- スマート技術の普及・開発等による農林水産業の成長産業化に向けた取組みの推進
- 県産品や県産農産物のブランド力の向上、海外展開や国内外への販路拡大等の推進
- 洋上風力発電等の再生可能エネルギーの導入拡大をはじめとする、脱炭素に向けた取組みの推進

³ 政府が導入を検討している制度で、住所地以外の地域に継続的に関わる人を「ふるさと住民」として登録し、地域の持続・手続保や地域経済の活性化等につなげていくことを目的とした仕組みのこと

3 安全・安心な地域づくりに向けた取組みの推進

- 地域の暮らしや生活サービス拠点の維持・確保、地域コミュニティの維持・活性化
- 持続可能な医療提供体制の確保に向けた地域医療構想の推進、福祉・介護提供体制の確保
- 流域治水対策や地域防災力の向上、インフラの長寿命化対策など、ハード・ソフト両面からの災害対策の強化
- 災害や異常気象等から県民の命や暮らしを守る取組みの強化、鳥獣被害対策をはじめ自然環境の変化への的確な対応・対策の推進
- 市町村との連携強化やデジタル等の新たな技術の導入など、インフラ管理の省力化・効率化の推進
- 鉄道、航空、高規格道路、港湾など、利便性の高い広域交通ネットワークの充実に向けた取組みの強化（再掲）

人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさと幸せを実感できる山形